

にぎわい news

Vol.31

2026.07

「N
O
W
A
R
」
だけ
が

「P
E
A
C
E
」
なの
？

・特集・

U25 ワークショップ

平和ってなんだとおもう？

開催レポート



U25ワークショップ

平和ってなんだとおもう？

開催レポート

はじめに

世界に目を向ければ、今も人類が戦争をしない日は1日もなく、必ずどこかで人間同士が争っています。テレビやSNSで流れてくる戦禍の状況に胸は痛むけれど、日本に暮らしていると、ずっとそのことばかり考えているわけにもいきません。

日本では終戦から80年以上がたち、当時を知る人も少なくなつた今、戦争というものが「数ある史実の一つ」くらいにしか感じられない人も増えているのではないのでしょうか。

それくらい、戦争のない日々が続いているということとはとても幸せだけど、戦争の悲惨さまで忘れられ、理解しようという機会もないまま時代が過ぎていけば、戦争を知っている人たちからは「若い人は平和ボケしている」といわれても仕方ないかもしれません。

「NO WAR」だけが「PEACE」なの？



しかし、今の社会だって、気温がどんどん上がっていくことや、不安定な世界情勢に左右される経済、少子化、人間関係の希薄化などといった現象が、さまざまな問題を引き起こしています。

そんな社会の中では、戦争を知らない人たちも「どうすれば自分らしく、平穏な毎日を生きられるのか」という問いには常に向き合っているはずだと思います。

今回の企画では「NO WAR だけがPEACEなの？」をキャッチフレーズにしました。

平和とは戦争がないというだけの意味ではないことを前提に、平和な社会とはどんな社会なのか、自分に何ができるのかを、今の自分の身の回りのことを振り返って率直な考えを伝えてほしいと聞いてみれば、若い人たちだって誠実に考え、答えを返してくれます。

彼らの言葉と力を信じて、このワークショップを企画しました。

ぜひ、いろいろな世代の方に読んでいただき、どの世代も共に考え続けることで、よりよい社会を目指すための希望につなげていければと思います。





令和8年5月16日、日進市にぎわい交流館で「U25平和ワークショップ」が開催されました。「平和ってなんだと思う？」という問いを、むずかしく構えずに、まずは身近なところから考えてみようという趣旨で行われたものです。25歳以下の若者が集まり、自分の言葉で平和について話し合う時間となりました。

参加者は、中学生1名、高校生3名、大学生11名、社会人1名の計16名でした。

ファシリテーターは、NIED国際理解教育センター代表理事の伊沢令子さんです。



＼ わらい ／

- 1 平和とは具体的にどのような状態のことを言うのか、様々な材料を使って一緒に考え、共通項を見出す。
- 2 「2つの平和」と平和を邪魔する「3つの暴力」について知り、その視点から自分たちの社会をふりかえる。
- 3 平和はなぜ大切なのか、自分とどう関係するのかを確認し平和を創るために私たちができることを考える。



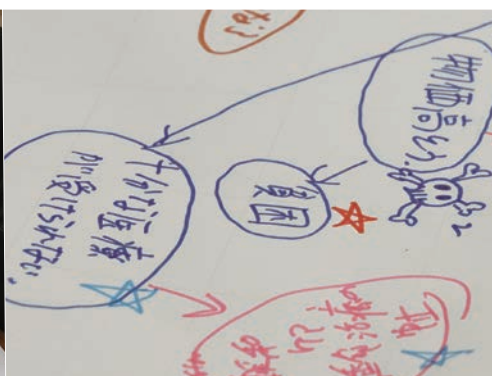
最初に行われたアイスブレイクでは、「わたしはこんな人！あなたはどうな人？」というテーマで自己紹介をし、初めて会う人同士でも話しやすい空気がつくられていきました。

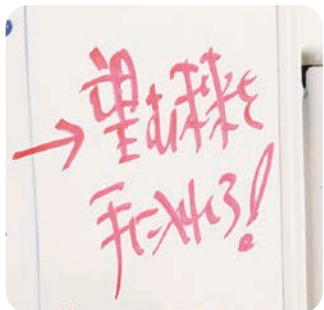
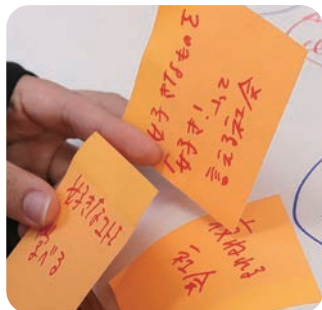
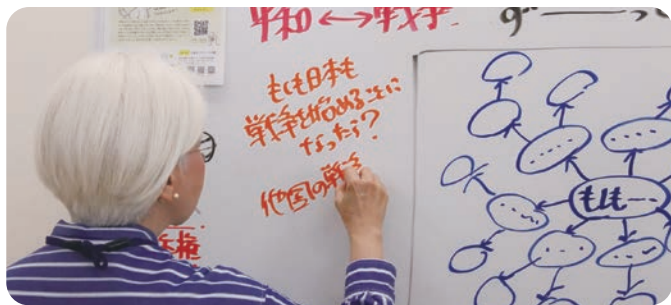
続いて、「これは平和か対立か？」というワークが行われました。絵を見ながら、そこにある状況が平和なのか対立なのかを考えるものです。言葉ではなく絵を手がかりにすることで、参加者それぞれの受け止め方が自然に表れ、互いの考えを共有するきっかけになっていました。こうして、カードを使ったり、資料を読みながら進めたりと、手を動かしながら考える時間が続きました。その後、2001年以降に世界で

ぼくが生まれた年から
ずっと続いている戦争がある

起きた戦争の一覧を見ながら、戦争がもたらす影響や、自分たちの生活とのつながりについて考えるワークが行われました。この場面では、参加者の一人が「ぼくが生まれた年から今までずっと止まっていけない戦争がある」と話していました。自分が生きてきたこれまでの時間と世界の出来事を照らし合わせながら考える姿が印象に残りました。

ワークの中では、「もしも日本が戦争を始めたなら？」「なぜ戦争が始まるのか？」といった問いかけもありました。参加者は、自分の立場や感じていることを整理しながら意見を述べていました。「平和について」は普段あまり考える機会のないテーマだったかもしれませんが、資料を見たり、他の人の意見を聞いたりすることで、少しずつ考えが深まっていく様子が見られました。





意識を変えたら 世界も変わるかもしれない

後半では、「NOWAR」だけでなく「PEACE」なの?という問いをもとに、平和の定義について考える時間がありました。戦争がない状態だけを平和と呼ぶのか、それとももっと広い意味があるのか。参加者からは、「安心して眠れること」「自分らしく生きられること」「誰かを信じられること」など、自分で考え、他の参加者とそれを共有し、さまざまな平和の形が挙げられていました。

さらに、「平和な社会の具体的なビジョンを描く」ワークでは、模造紙に意見を書き出しながら、理想とする社会像を共有しました。派生図を使って思考を広げる場面もあり、参加者が協力しながら考えを深めていく様子が見られました。途中にはおやつタイムもあり、リラックスした雰囲気の中で参加者同士が話す時間となりました。



ワークを通して考え方に変化があったという声もありました。参加者の一人は、「世界のどこかで戦争があるのは仕方がないと思っていましたが、意識を変えたら世界も変わるかもしれない。戦争も止められるのではないかと感じた」と話していました。ワークの内容を通して、自分の意識や行動が社会に影響を与える可能性について考えるきっかけになったようです。



終了後のアンケートでは、参加者全員が「とてもよかった」「または「よかった」と回答しており、満足度の高さが示されました。「知らない人とも話しやすかった」「平和について考えるきっかけになった」「初めて会う同年代と意見を共有できた」などの感想が寄せられています。

今回のワークショップは、若者が平和について考える初めの一歩として有効な機会となりました。反戦という狭い意味だけでなく、人権や環境などを含めた広い意味での平和について、自分の生活に引き寄せて考える時間は、大変有意義なものでした。

また、参加者のみなさんの楽しそうな表情や真剣に考える様子を見ていて、場の力を強く感じました。それは、参加した人たちがつくり出した、やわらかくて心地よい空気感でした。否定されたり傷ついたりする心配がなく、安心して対等な立場で話ができる。そんな環境があるからこそ、一人ひとりの思いや考えが自然と引き出されていくのだと思います。彼らは、この日まさに「平和」を体現していました。

若い人たちが、これからも自分のペースで平和について考え続けてくれたらいいなと思います。この日のように、安心して話ができる場があれば、その思いはきっと少しずつ育っていくのだと感じました。

16人が考えた 平和ってこれだとおもう！

命に勝るものなし・自己肯定

- 命がいちばん大事!な社会
- 自分に生まれてきて良かったと思える社会
- 生まれたことに感謝する社会

美味しい・楽しい・安全な食

- ごはんがおいしい社会
- ご飯と酒で楽しめる社会
- みんなで美味しいご飯を食べれる社会
- 食べたいご飯が食べられる社会
- 酒を飲んで本音で語れる社会
- きれいで美しい水が飲める社会

共に喜び共に悲しみ・笑顔・しあわせ

- 毎日の生活が喜怒哀楽で溢れる社会
- 皆で笑い合って喜び合える社会
- 一緒に喜んでくれる人がいる社会
- 喜怒哀楽が出せる社会
- 平和っていいよね!って笑い合える社会
- 誰も不幸なまま人生を終らない社会
- 生きてて楽しいと思える社会

多様性受容／リスペクト／寛容

- 違いを「イイね」と言える社会
- 価値観を尊重する社会
- 変化を受け入れる社会

気持ちを言葉に・気持ちに正直に

- 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える社会
- 自分の気持ちを大切にできる社会
- 感情を素直に表現できる社会

ボーダーレス・ヘイトレス・対等

- 国や人種が関係ない社会
- 国、人種、動物も、いろんな枠がない社会
- 誰でも対等に話し合いができる社会

自然と共に

- 今ある自然を大切にして、人と自然がつながれる社会
- いつまでも緑や自然に癒やされる社会

安心安全・ストレスレス

- みんなが事故や事件なく過ごせる社会
- 安心、安全な生活がおくれる社会
- 安心して寝られる社会
- 交通事故による死者ゼロの社会
- 住む家が誰しもある社会
- お金に困らない社会
- 死を恐れなくていい社会

未来への希望・将来の夢・チャレンジ

- 明るい未来を思い浮かべられる社会
- やりたいこと、夢を持てる社会
- 何事も挑戦できる社会
- 失敗しても許される社会
- 失敗しても助けを求められるし何度でもやり直せる社会

つながり・信頼

- 家族や友人がいる社会
- 大切にできる人がいる社会
- 家族や大切な人がいなくなるらない社会
- 人同士が信頼し合っている社会
- お互いに信頼し合える社会
- 会いたい人にいつでも会える社会

助け合い・支え合い・相談・応援

- 困った時に相談できる社会
- おもいやりある社会
- 助け合いができる社会
- 頑張っている人を応援できる社会

社会変革と参画／非暴力

- 「これちょっとよくないんじゃない?」って気づいて言える社会
- 自分に関わることに全員が関心を持ち参加できる社会
- 意味のないルールがなく、全てのルールがルールとして成立している社会
- 自分の意見を持ち(社会に関心を持ち)意志決定に参加できる社会

当たり前を当たり前

- 毎日の食事や布団やお風呂が当たり前のようにある社会
- 帰ったら家がある社会(おかえりたたいま)
- 朝起き、ご飯を食べ、仕事をし、風呂に入り、夜寝れる社会
- 誰でも教育が受けられる社会
- 戦争がない平和な社会
- 平和について考える必要がない社会



市民活動界隈の

かわいいもの

市民活動ってなんとなく堅いイメージがありませんか？
でも実は、この界隈にはかわいくてほっこりするものも
たくさんあるのです。

見たことある？ お米の赤ちゃん

にぎわい交流館の登録団体の中には、田んぼや畑での活動を通して、食育や環境保全などに取り組む団体がいくつもあります。なかには、タネモミを発芽させるところから実践している団体も。毎日毎日、湿度や温度の管理をして大切に見守った種から、真っ白な根っこや小さな芽が出てきたときには、思わず「かわいい」という声が漏れてしまいますね。生き物の最初って、どうしてこんなにかわいいんでしょう。



こめぶ
写真提供：につしん市民環境ネット(米部)

／こんにちは／
館長です。

note はじめました。

私は毎日、「にぎわい交流館公式noteで館長のつぶやき」を書いていきます。今年度が始まった4月1日にスタートしたので、これを読んでくださっている時点では、連続投稿100日を超えているはず。きつと。

こう書くと、「にぎわいの館長はもともとコツコツ続けるのが得意なんだね」と思われるかもしれませんが、とんでもありません。学生の頃から夏休みの宿題は最終日にまとめてやるタイプ。大人になってからも「よし、毎日やろう！」と決意しては、いつの間にかやらなくなっていることが数えきれないくらいたくさんあります。

「毎日書いててネタ切れにならないの？」と言われることもよくあります。たしかに夜になって「さて、今日は何を書こうかな」と、しばし記憶を辿る日もありますが、ありがたいことに本当にネタは尽きません。

起こった出来事はどんどん過ぎ去って行ってしまうので、ネタ帳に書き留めておくようにしていますが、書ききれずに忘れてしまうことさえあるくらい。なぜなら、「にぎわい交流館には毎日いるいるな「面白い人」が来てくださるからです。」

新しい活動を始めたい人。長年続けてきた活動を誰かに引き継ぐとして人。仲間を探している人。イベントの準備で走り回っている人。ただおしゃべりをしに来る人。

みなさんそれぞれに物語があって、思いがあつて、聞いているだけで「へえー！」とか

「なるほどー！」とか言いたくなることばかりです。

私は市民活動の相談を受けるという仕事をしていますが、実は相談に乗っているようで、たくさんの方の話を聞いてもらっているのです。

だから毎日が面白い。そして、その面白さを誰かに伝えたい。それが「館長のつぶやき」の正体なのかもしれません。

もし私が一人で机に向かっていただけだったら、とつとに三日坊主で終わっていたと思います。

100日続けてこれたのは、私の努力というよりも、この場所を訪れてくださるみなさんのおかげです。今日もまた誰かとの出会いがあつて、何か新しい発見がありますよ、きつと。そんな毎日だから、明日のネタにも困らないのですね。

にぎわい交流館公式note「館長のつぶやき」、よかったらのぞいてみてください。

千日継続して阿蘭梨になる予定なので（笑）、お読みいただけるとうれしいです。「スキ」をつけてくださると嬉しいです。喜びます。フォローしてくださったりなんかしたら、走り出すくらい狂喜します。

にぎわい交流館で、noteで、お待ちしております（笑）

にぎわい交流館
noteはこちら



寺田裕美（てらだ・ゆみ）
／日進市にぎわい交流館館長

2020年、にぎわい交流館館長に就任。その後すぐにコロナ禍となり、右も左もわからないままなんとか業務をこなす日々が始まる。市民として環境活動等にも参加していたが「中間支援者」としての視点でまちづくりを考えるという新たなフェーズに突入している。

団体登録 しませんか？

会議室を利用できたり、チラシを
公共施設に配架できたりします。



登録条件

日進市内で、
非営利かつ
公益的な
活動をして
いること



どんな団体があるの？
と思ったら
ウェブサイトへどうぞ！



日進市にぎわい交流館
ホームページ

書類の提出から10日～14日で
審査をさせていただきます、
登録要件に当てはまるものが
認められれば登録となります。

登録団体証が 郵送される

団体登録申請用紙のほか、
会則・予算書・決算書・
代表者の身分証明書の
コピーなどが必要です。
詳しくは、ヒアリングの際に
お話しします。

書類を提出する

どんな活動をしたいのかを、
にぎわい交流館スタッフが
ヒアリングします。

にぎわい交流館に 相談する

登録の手順



25歳以下の方は、団体登録をせずに、
にぎわい交流館を利用できる
システムがあります。

詳しくはこちら→



EVENT INFORMATION

にぎわいサマーフェス!



7/31 金

絵本とお話フェア

Guest

増田喜昭さん /
子どもの本専門店メリーゴーランド

日進市産
お野菜マルシェ
& お弁当市

7/25 土 ~ 8/30 日

ウォーターサーバーを常設します。
クールスポットとしてご利用ください。

8/4 火

社会課題をやっつけろ!
正義のヒーロー
変身ベルトをつくろう!

Guest

村田 祐一郎さん / 図画工作むらた

8/28 金

夜のにぎわい
怪談噺の会

Guest

桂 佐ん吉さん / 上方落語家

8/20 木 21 金 22 土

にぎわいおひるごはんの日「給食レシピの3日間」

他にも
いろいろ
やってるよ



ランチ・マーケットの情報は SNS で発信しています。



喫茶もあります。

コーヒー・紅茶がございます。
お休みしていることもありますので、
ご了承ください。



日進市にぎわい交流館

日進市蟹甲町中島277-1(日進市役所の東隣)

電話/0561-75-6650 メール/nigiwai@me.ccnw.ne.jp

開館時間

8:30~21:00

市民サロン・印刷室 8:30~20:00 / 会議室 9:00~20:30

開館日

土・日・祝日を含む毎日

年末年始(12月28日~1月4日)は休館